

2004.7.1
No.1

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2640

GOVERNOR'S

MONTHLY LETTER

2004-2005 THEME



CELEBRATE
ROTARY

100 Years

ロータリーを祝おう
100年の歩み

RI PRESIDENT



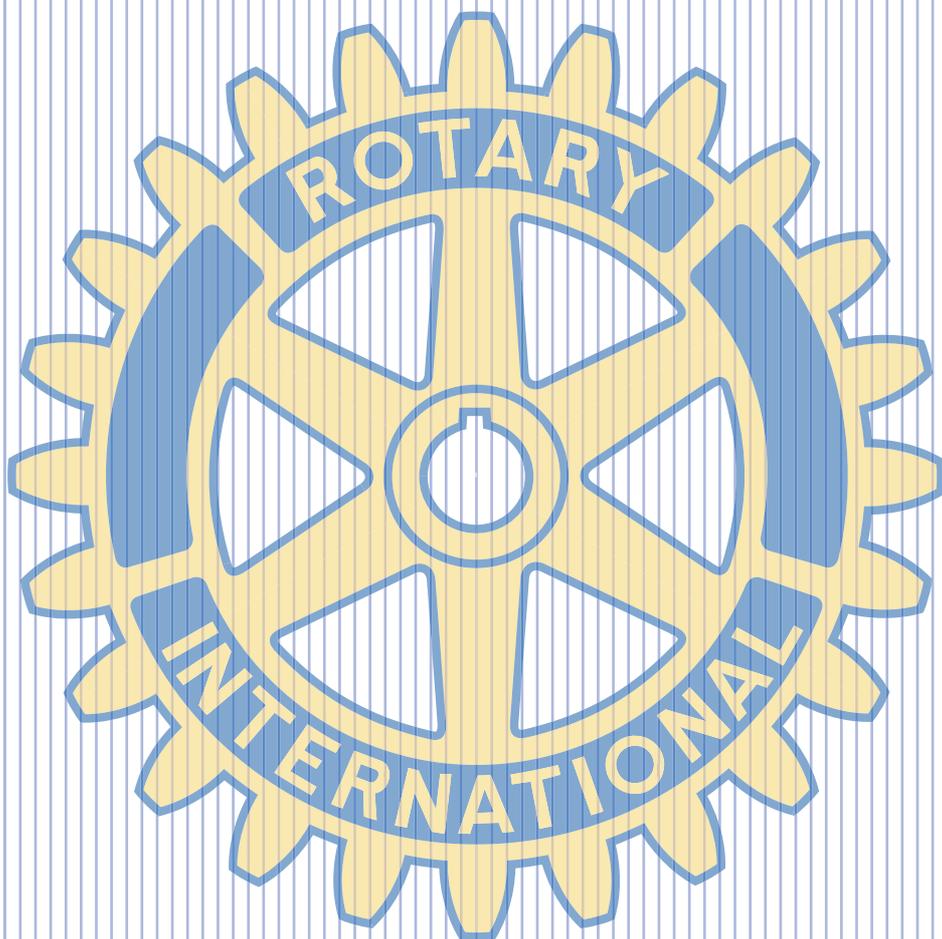
Glenn E. Estess

2004-2005RI会長
Glenn E. Estess, Sr.

RID.2640 GOVERNOR



2004-2005国際ロータリー
2640地区ガバナー
中島 治一郎



2004-2005年度

国際ロータリー会長紹介**グレンE. エステスSr. 氏**

(米国アラバマ州シェイズバレー)

2003-04 年度 国際ロータリー会長エレクト

1993-96 年度 ロータリー財団管理委員

1991-92 年度 国際ロータリー副会長

1990-92 年度 国際ロータリー理事

1979-80 年度 第 6860 地区ガバナー

グレンE. エステス Sr. 氏は、グレン・エステス・アソシエイツ社を引退された最高経営責任者です。米国ミシシッピ州のパイク郡に生まれ、物理学および化学を専攻され、ルイジアナ州ニューオーリンズのチュレイン大学から学位を取得されました。エステス氏は、5人兄弟の1人で、全員がロータリアンです。一時期、兄弟のうち4人がそれぞれのクラブの会長を務めました。

エステス氏は、アラバマ州バーミングハムに本部を置く、およそ10,000人の職員を擁する11の病院の連携保健看護体制である、バプチスト保健機構の元管理委員会委員長です。アラバマ州中部商事改善協会の理事およびアラバマ州労災補償信託-企業審議会の管理委員を務められました。またフロリダ州における初期の頃、YMCA、米国化学協会、関節炎財団の委員長を歴任され、また米国の人事問題顧問評議会の評議員も務められました。

エステス氏は、1960年以來のロータリアンで、最初、(米国)フロリダ州ジャックソンビルのクラブ#41、その後、ニュージャージー州ウエインのクラブ会員でした。同氏は、1997年国際大会委員会のアドバイザー、また1987-88年度にはポリオ・プラス国別コーディネーターを務められました。同氏は、管理委員会委員の任

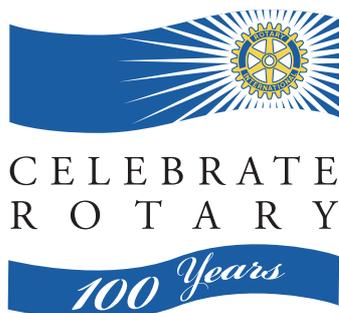
期を通じ、財団財務委員会委員長および財団プログラム委員会副委員長を歴任されました。1999年には、国際協議会委員長および議長を務められました。

同氏は、以前、国際ロータリー監査運営審査委員会委員を4年、そのうち1年は同委員会委員長を務められました。これはロータリーで唯一の6年任期の委員会です。この委員会は、理事会に対し諮問の役割を果たします。またエステス氏は、2002-03年度を通じ、会員増強および退会防止委員会の委員長を務められました。

エステス氏は、ロータリー財団の大口寄付者、ポール・ハリス・フェロー、およびベネファクターです。同氏はまた、ロータリー財団功労表彰状およびロータリー財団特別功労賞を受賞されておられます。

グレンおよびメアリー・エステスご夫妻には、3人のお子さんと8人のお孫さんがおられます。ご家族の16人が、ポール・ハリス・フェローです。

エステス氏は、国際ロータリー創立百周年記念にあたる2004-05年度に会長を務められます。



2004-2005年度 国際ロータリーのテーマ

ロータリーを祝おう 100年の歩み



RI 会長メッセージ

グレンE. エステス Sr.

親愛なる同僚ロータリアンの皆さま：

100年に及ぶロータリーの親睦と奉仕には、祝うに足る十分な理由があり、100周年にあたる私たちの2004-05年度に、私は、全ロータリアンに向かって一緒に**ロータリーを祝おう**とお願いしたいのです。私たちは、世界の子供たちや今後生まれてくるすべての子供たちへの贈り物として、ポリオのない世界を実現するという大きな成功を祝うこととなります。世界166カ国で120万人の会員が奉仕するという一世紀にわたる成長と拡大を祝い、そして、私たちが奉仕へと駆り立てて献身しようと絶えず奮い立たせる、ロータリアンの心温まる親睦を祝うのです。

私は、ロータリアンの皆さまに、過去の成功の自己満足ではなく、現在の困難への新たな危機感を持って、**ロータリーを祝おう**と呼びかけております。何十年にもわたる奉仕によって、私たちは、自然災害と新たな恐ろしい病や残忍な紛争に取り巻かれた世界において、人類が必要とすることの重大さを知らされました。私たちは何百万もの読み書きのできない人々や技能を備えていない人々が、容赦ない貧困の悪循環に掛かって抜け出せないでいることを知っています。私たちは、

医師や病院があまりにも少なすぎる場所に、苦しむ人々が存在するのを目にしてきました。また、食料や水などの基本的な必需品に手が届かない人々が、あまりに多くいることを認識しています。**ロータリーを祝う**最善の方途の一つは、私たちの100年の経験の重みを十分に生かして、それらの莫大な人道的需要に取り組むことでしょう。まず第一に、超我の奉仕を据えることで、**ロータリーを祝おう**ではありませんか。

国際親善奨学生、ローターアクター、インターアクター、青少年交換学生、GSE チーム・メンバー、その他私たちの人道的活動によって生活が改善された何千もの人々など、私は、皆さまがこの祝賀の心を、ロータリー家族全体とロータリーによって感動を与えられたすべての人々と分かち合われるよう望みます。また、私たちが奉仕する地域社会に、私たちと共に祝ってもらよう呼びかけましょう。100周年社会奉仕プロジェクトは、ロータリー100周年を地元で広報し、世界中の何千もの地域社会で、100周年を末永く記憶に残るものとするまたとない機会です。

ロータリー100周年にまつわる前向きな広報は、間違いなく会員候補者の間でロータリーに対する認識と関心を高め、2004-05年度を会員を増強するに最適なものとするでしょう。また、私たちは、ここ数年来の退会防止活動を継続するのに、クラブ・プロジェクトに現在の会員を積極的に巻き込み、「ロータリー家族」委員会を維持し続け、クラブ内に気配りと思いやりのある環境を推進しなければなりません。私たちは、ロータリーの最初の100年の奉仕にとって、安定した成長を続ける会員組織がいかに重要であるか、目にしてきました。活動的で献身的なロータリアンの退会を防止し、その数を増やして、私たちの将来を安定したものにするため、あらゆる努力をしましょう。

100年は重要な礎石であり、そこに到達した団体はほとんどありません。このことは、ロータリーが正しい行いをしていること、ロータリー奉仕に対する需要がいまだ大きいことを示しています。私たちの成功には、数多くの「秘密」があります。それは、週例会に由来する親睦と共通の大義、それに世界中に向けて扉と心を開く国際性であり、私たちの誰もが、自分ひとりで行うよりはるかに多くの事柄を達成させてくれる構造です。しかしながら、最大の強みは、ロータリアンが新しい挑戦事項に取り組むにあたって抱き、最後に問題が解決されるまで持続する熱意なのです。私たちは、ポリオ撲滅において、また、私たちが奉仕する各地域社会において、他の何千もの方法でそれを実践しています。

シカゴの鉦山技師の事務所で1905年に始まったロータリーですが、初期の頃には、将来の見通しはほとんど立っていませんでした。凍てついた2月の夜、そこに集った4人の男性のうち誰一人として、100年後に31,000ものクラブが会合を開くとはもちろんのこと、その会合が定期的に行われることになるとは、予想だにありませんでした。ポール・ハリス、シルベスター・

シール、ガスターバス・ローア、ハイラム・ショーレーは、明らかに、自分たちが最初の奉仕クラブを形成し、20世紀を通して他のこれほど多くの人々の心と魂を掴むことになる運動に着手しているとは、思いもしていませんでした。初期の創立者たちのように、ロータリアンは、自分たちの行動がどれほど建設的な影響を与えるのか、いつもわきまえているわけではありません。しかし、100年にわたる奉仕は、私たちが世界で善行をなす計り知れない可能性を明確に示してきました。

今日、国際ロータリーは、世界で最も影響力と行動力を有する非政府団体の1つとして、奉仕の第二世紀に入る用意が整っています。私たちのポリオ・プラス・プログラム、平和および紛争解決の分野における国際問題研究のためのロータリー・センター、国際人道的活動、そして世界中で数え切れないほどの卓越したクラブと地区のプロジェクトは、より良いより平和な世界を達成するためのロータリーの貢献を示しています。ロータリーの可能性に対する認識を高め、新しい挑戦事項に取り組み、それらが達成されるまでやりぬく心構えをして、奉仕の第二世紀に入ろうではありませんか。私たちのクラブで、職業で、地域社会で、そして私たちの世界で、新たに奉仕に献身しあて、**ロータリーを祝おう**ではありませんか。



グレンE. エステスSr.
2004-2005国際ロータリー会長



CELEBRATE
ROTARY

100 Years

GOVERNOR'S MESSAGE

ガバナー・メッセージ

ガバナー就任ご挨拶

国際ロータリー第2640地区
ガバナー 中島 治一郎



2004-05年度の2640地区ガバナーをお引き受けする事になりました。ちょうどロータリー誕生100周年と言う意義深い年に当ります。地区の皆様と共に、各クラブ並びに各地域社会の活性化に微力ながらご奉仕したいと考えております。

もう18年前になりますが、1986-87年度に当地区ガバナーを経験しております。その頃と比べて、ロータリーも随分変わりました。当時は、ロータリークラブの会員になる為の審査が厳しく、『職業分類の適用』、『テリトリー内に、住所か会社が存在するか?』、『地域の人々に尊敬されているか?』、等々ハードルが高かったと思います。胸につけたロータリーのエンブレムに今よりもっと誇りを持っていたのでは無いでしょうか。

米国のロータリーは、日本以上に変わりました。ロータリークラブには、その地域社会の名士が網羅されておりました。今は普通の人々が、奉仕の機

会を求めて、クラブに名を連ねます。サイバークラブ等と言って、インターネットで例会をやった事にしてしまうクラブも出て来る有様です。『奉仕の機会を多く得られるクラブ』であれば良いとするなら、このような発想も生まれる訳です。『人作りをするクラブ』は影を潜めてしまっているのです。

ドイツは逆に、クラブへの入会審査を厳しくして行っております。地域で尊敬される人物しか入れないのです。職業分類も厳しく、ロータリアンは、自分の職業分類の代表者であると言う自信と誇りを持ち、言動に重い責任感で処していると聞いております。ドイツでは、クラブへの入会希望者がウェイティングリストの中に名を連ねて待っているのです。

国際ロータリーの規定審議会の動向を見ていると、ここ10数年来、安きに流れ過ぎている事を強く感じます。職業分類、テリトリー、休日、等々



グレンE.エステスSr RI会長



RI大阪国際大会(大阪ドーム)にて

RI会長ご夫妻

ルールを緩め過ぎる傾向にあります。全ては、会員増強促進の為です。私は、この傾向による害の方が益よりずっと多いと認識しております。救いは、国際ロータリーの規定が、如何に安きに流れようが、各クラブが自分のクラブの細則で、厳しいルールを守れば済むことです。ドイツが良い例だと思います。自分達のクラブのルールは自分達で確立する。自分達のクラブの活性化は自分達で図り、努力する。自分達のクラブの

誇りは、自分達で守る。自分達の地域社会は、自分達の手で何をすべきか考え貢献する。100周年を期して、2640地区の各クラブが、このような方向で切磋琢磨するならば、全体に誇れる景観を備えた本地区が、より輝いて来るに違いないと思います。

今年度は、各クラブがご自分のクラブの活性化をクラブ会長を中心に懸命に図られるお手伝いをさせていただきますと、ひたすら念じております。

直前ガバナーへの謝辞

ガバナー 中島 治一郎

前々年度が丁度ロータリー創立後99年目に当たるという事で、前々直前ガバナーは、総決算の年とすべく『101委員会』を創設して、地区が、そして地区の全てのクラブが過去を振り返り、反省するべき点は、大いに反省して、新しい世紀に心新たに足を踏み入れる準備をしようと提案されました。

私が、2004 - 05年度のガバナーをお引き受けして、国際協議会に参加してみると、グレン・エステスRI会長は、ロータリー百周年を節目の年として、過去の実績を評価すると共に、反省もし、新しい世紀に足を踏み出すステップの年にしようと呼び掛けられたのです。前々直前ガバナーの101委員会の設営趣旨と全く同じ内容で、前々直前ガバナーの先見性に改めて敬意を表したいと思います。たまたま私は、この101委員会の委員長を承っておりましたので、ガバナーとしての助走を一年前から始めていた事になり、ガバナーエレクト期間の極短い私にとっては至極有難い事だったと思っています。

縁とは不思議なもので、私が18年前にガバナーを勤めました折の直前ガバナーは、前々直前ガバナーと同じ和歌山南ロータリークラブ会員の月山和男パストガバナーでした。丁度、国際ロータリーの変わり目の頃で、次期クラブ会長エレクト研修セミナー（PETS）

には、月山PDG以前までは、クラブ会長と幹事が出席していましたが、会長のみの研修となった年でしたし、そのPETSや地区協議会の主催者もガバナーから、ガバナーエレクトに変わりました。月山PDGが、そのようにしようと努められても、パストガバナー諸氏の了解を得られず、旧態依然の形が続きました。私の年も、そのようなプレッシャーをパストガバナー諸氏から強く感じたのですが、月山PDG当時の直前ガバナーが盾となって防いで下さり、新方式を進める事が出来た事を昨日の事のように思い出します。前々直前ガバナーには、パストガバナーが直後をやると言うので、ご迷惑をお掛けしたかも知れません。今年の2月に入ってから、私がガバナーにエレクトされたと言う短さが良かったかも知れません。

前々直前ガバナーは、ガバナーを生み出す仕組みとか、地区大会や地区協議会のホストをローテーションにする手法とかにも真剣に取り組み、ご提案頂いております。地区の皆様と良くご相談して、本地区にとって最も相応しい方法を編み出す事が、皆様の地区の将来にとって大切な事の一つであると思います。

前々直前ガバナーが、その先見性を活用して、今後とも地区内各クラブにとって不可欠のアドバイザーになって下さる事をご期待申し上げます。

識字率向上月間にあたって

「識字率向上」担当カウンセラー 堤 啓 治

現在全世界の15歳以下の人々で9億6260万人が非識字者とされています。その中で6億人以上はアジア地区にあり、外、アフリカ、ラテンアメリカの発展途上国に集中しています。15歳以上の方々を加えると約20億人と推察されます。全人口の1/3に当たります。「読み書き」が出来ない為に仕事に就くこともできません。しかし大多数の方々は「真面目に」一生懸命に生活しています。

国連では1987年国連総会で1990年を「国際識字年」とする決議を採択し、2000年までに非識字状態を克服する取り組みを世界各国に求めました。そして、ユネスコが指導的役割を果たすことになりました。しかし現在に至っても、その目的が達成されていません。

私達ロータリアンとして援助する方法は、ボランティアとして現地へ行って奉仕活動を行うか、資金援助をして運動を支援する二つの方法しかありません。個人的に現地に行くと言うことは至難です。ユネスコが提唱しております「寺子屋運動」に従来から支援を続ける為に書き損じ葉書、未使用のテレホンカード、未使用の切手、等々の活動を続けたいと思います。

私年度に行いました「ワールド・スクール・プロジェクト」を少し説明いたします。スリランカ在日大使館（東京）と打ち合せをし、現地スリランカ文部省、大臣と充分打合せを行い現地視察を行いスタートしました。資金は未使用のテレホンカード ロータリアン1人10枚提出をお願いし、2,000万円目標として資金造りを行い最終的には2,300万円の協力を得ました。2ヶ所で20教室を建設することが出来ました。設計・監督は文部省、建設業者との契約は2640地区と言う

形をとり支払に関しては現地ゴールR.C.に依頼しました。

現地のスリランカの現況を少し説明いたします。義務教育は小中一貫で10年、学費以外年間1万200円程度が必要、大学生で年間22,000円程度です。私達和歌山R.C.では次年度に、「里親制度」「奨学資金制度」を検討に入っております。

航空運賃もスリランカで購入すれば大人10万円、子供5万円、スリランカの子供を招聘計画を立てています。上記の様な費用負担であればクラブの世界社会奉仕として可能な活動であると認識し取り組んでいます。

追伸

20教室建設費の決算書を見ますと一教室鉄筋コンクリート造りで85万円（4間×4間16坪）で坪当たり5万3,000円程度で出来ています。





公式訪問を始めるに当たって

ガバナー 中島 治一郎

今年度のガバナー公式訪問は、ガバナー本人が地区内の全てのクラブで行います。いずれのクラブにおきましても、三つの会合をご用意したいと希望致しております。

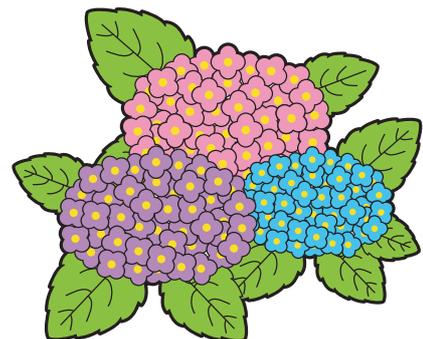
- (1) 約30分間の『クラブ会長、幹事との懇談会』。会長さん、幹事さんと私との3人だけで、お話をしたいと考えています。
- (2) 約1時間の『クラブ例会』。この中で30分程の卓話を致します。
- (3) 約1～2時間の『クラブ協議会』。出来るだけ全員参加型の協議会を希望致します。特に、新しく入られた会員諸氏には是非ご出席頂きたいと考えています。各委員長さんには、今年度、ご自分がやりたいと思っている事を、紙を読むのではなく、語り掛けて戴きたいと望んでおります。

ガバナー補佐さんには、オリエンテーションをする時間が無く、意思の疎通を欠いたままクラブ

の相談に乗って貰う訳には参りませんので、公式訪問と一緒に出席して、私の考え方を良く学習して貰う事を仕事始めとして下さるようお願いを致しました。

町長さんや、市長さんにお目に掛かって、地域社会の問題をお聞かせ願うのは、有難い事だと思います。出来れば、そのように図って下さい。『会長、幹事懇談会』の前に、そのような機会をお造り戴ければ幸甚に存じます。同自治体に複数のクラブが存在する場合、ご連絡を取り合っ戴ければ有難いと思います。一日に、昼と夜、2クラブを訪問する場合があります。その場合の夜のクラブ訪問の『会長、幹事懇談会』の前には首長訪問の時間的余裕が無いと拝察致します。

皆様のクラブを訪問出来ます事を非常に楽しみに致しております。



RID2640
各クラブ会長
会長エレクト各位

地区ガバナー 中島 治一郎

地区ガバナー・ノミネー候補者推薦について

拝啓 新緑の候、ますますご清祥の事とお慶び申し上げます

日頃、地区運営につきましては、一方ならぬご尽力を賜わり、有り難くお礼申し上げます。

さて、本地区のガバナー候補者推薦につきましては、従来より各クラブからの自発的推薦を待って該当候補者につき指名委員会が審議を行い、的確と思われる候補者をガバナー・ノミネーとして指名してきましたが、広く人材を求めるべく前々年度から、RI細則13条2節3項により、ガバナー候補者の推薦を地区内各クラブに要請することとなりました。

つきましては、下記により2006-07年度国際ロータリー第2640地区のガバナー候補者をご推薦賜わりたく、お願い申し上げます。

敬 具

記

地区ガバナー候補者の資格要件として下記の各項が要求されますが、詳しくは、2001年度手続要覧をご参照下さい。

- (1) 瑕疵なきロータリーアンであること
- (2) 完全に会員資格を有する者
- (3) 瑕疵なきクラブに所属していること
- (4) クラブの元会長であること
- (5) ガバナーの任務を遂行できる能力のあること
- (6) ガバナー就任の時点で通算7年以上会員であること
- (7) 選出時点でクラブ会長を全期務めたことのある者

ガバナー候補者推薦状は、RI細則13条2節3項をご参照の上、クラブ例会で採択された決議の形で、クラブ幹事が正式に証明した文書をもって、2004年9月20日迄に地区指名委員会宛（ガバナー事務所内）へご提出下さい。

送付先

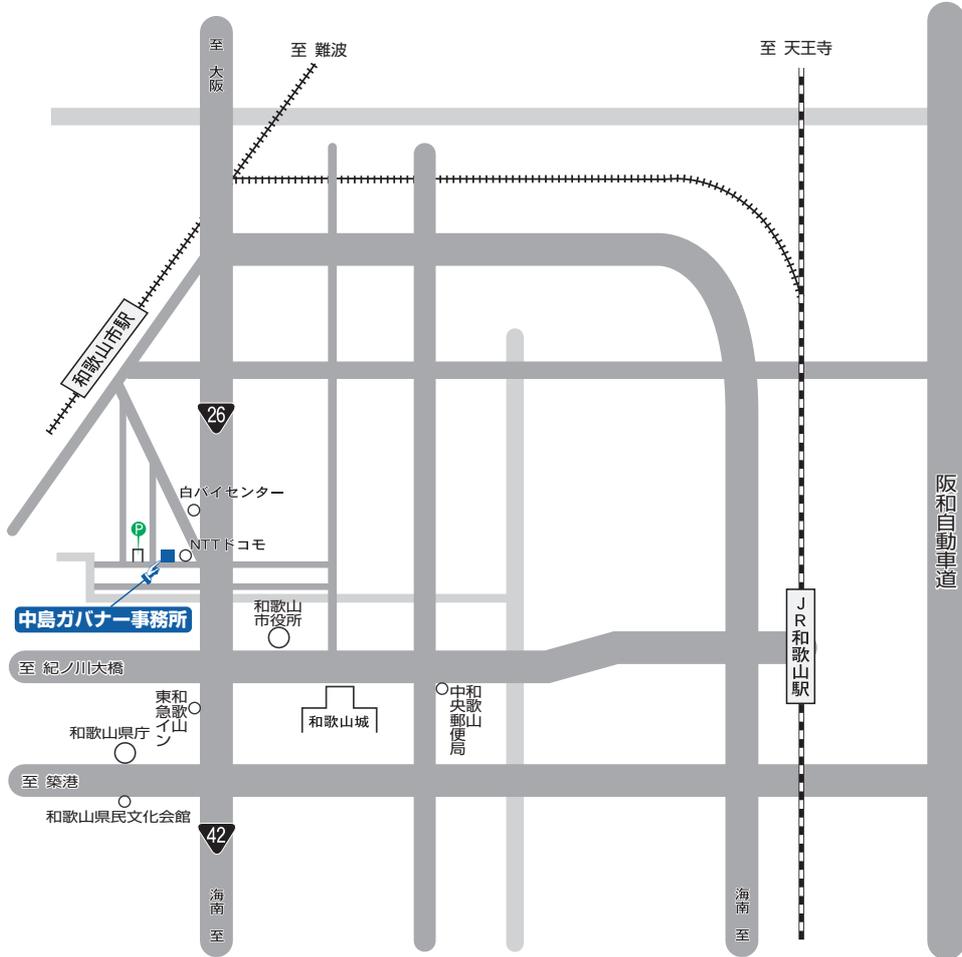
〒640-8215 和歌山市橋丁23 サイバーリンクスN-4ビル2F

ガバナー事務所内 **地区指名委員会**

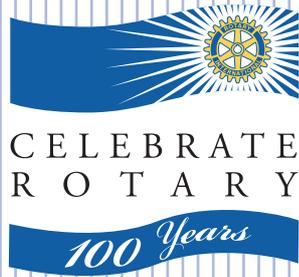
以 上



国際ロータリー第2640地区 ガバナー事務所ご案内



- 所在地 〒640-8215 和歌山市橋丁23 サイバーリンクスN-4ビル2F
- TEL (073)428-2640
- FAX (073)428-2643
- 勤務時間 9:30～17:30 (土、日、祝日は休み)
- STAFF 代表幹事 高寺 壽
事務職員 山本千恵子 平田有紀子 清原美和



CELEBRATE
ROTARY

100 Years